

学年に合わせて取り組む、漢字の問題プリント

漢字ドリル

中学 **2** 年生

第1巻

練習＋問題

読みを広げる、毎日の一冊。

新しく学ぶ漢字の読み



36字

この巻で学ぶ漢字

この巻で取り組む漢字の一部

郊 暈 赴 歡 唯 稚

練習してから、問題に挑戦

本文 30ページ・答えは各用紙のQRから

diglabo.com

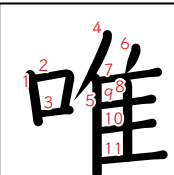


ちゅう2 1かん たんい1 れんしゅう

なまえ



赴			郊	
	訓 おもむく 音 フ		訓 たたみ 音 ジヨウ	音 コウ
	・ 単身赴任 たんしんふにん ・ 赴任 ふにん ・ 赴く おもむく		・ 石畳 いしたみ ・ 四畳半 よじょうはん ・ 畳む たたむ	・ 北郊 ほつこう ・ 近郊 きんこう ・ 郊外 こうがい
	部首 赴 そうによう 9画		部首 畳 た 12画	部首 郊 おおざと 9画

稚		唯		歡	
	音 チ		音 ユイ		音 カン
・ 稚気 ちぎ	・ 稚貝 ちがい	・ 幼稚 ようち	・ 唯我独尊 ゆいがとくそん	・ 唯物論 ゆいぶつろん	・ 唯一 ゆいいつ
・ 歡喜 かんき	・ 歡声 かんせい	・ 歡迎 かんげい			
部首 稚 のぎへん 13画		部首 唯 くちへん 11画		部首 歡 あくび 15画	

ちゅう2 1かん たんい1 A

なまえ

/ 13



5

チー
ムで
唯
一
の
一
年
生
だ

4

留
学
生
を
歡
迎
す
る

3

調
査
団
が
事
故
の
現
地
に
赴
く

2

乾
いた
洗
濯
物
を
畳
む

1

週
末
は
郊
外
の
公
園
で
過
ご
す

10

マ
ル
ク
ス
の
唯
一
の
史
観
を
学
ぶ

9

離
島
の
学
校
に
赴
任
す
る

8

京
都
の
石
畳
の
道
を
歩
く

7

四
畳
半
の
部
屋
に
住
む

6

考
え
方
が
幼
稚
だ
と
言
わ
れ
る

13

工
場
が
都
心
か
ら
南
郊
へ
移
っ
た

12

水
族
館
の
水
そ
う
で
ふ
化
し
た
稚
魚
が
泳
ぐ

11

町
を
挙
げ
て
代
表
選
手
を
歡
迎
し
た

ちゅう2 1かん たんい1 B

なまえ

/ 13



5

チームで
唯一の
一年生だ

4

留学生を
歓迎する

3

調査団が事故の現地に
赴く

2

乾いた洗濯物を
畳む

1

週末は郊外の公園で過ごす

10

マルクスの
唯一の
史観を学ぶ

9

離島の学校に
赴任する

8

京都の石畳の道を歩く

7

四畳半の部屋に住む

6

考え方が幼稚だと言われる

13

工場が都心から南郊へ移った

12

水族館の水そうでふ化した
稚魚が泳ぐ

11

町を挙げて代表選手を
歓迎した

ちゅう2 1かん たんい2 れんしゅう

なまえ



勘		脚		怪	
	音 カン		訓 あし 音 キヤク		訓 あや 音 カイ
	・ 勘違い ・ 勘定 ・ 割り勘		・ 三脚 ・ 脚光 ・ 脚本		・ 怪談 ・ 怪しい ・ 怪しむ
	部首 勘 ちから 11画		部首 脚 にくづき 11画		部首 怪 りっしんべん 8画

羨		撮		逃	
	訓 うらや (む) うらや (む)		訓 と 音 サツ		訓 のが (る) のが (す) に (がす) に (げる) トウ
	・ 羨ましい ・ 羨む		・ 特撮 ・ 撮影 ・ 撮る		・ 逃がす ・ 逃げる ・ 逃避
	部首 羨 ひつじ 13画		部首 撮 てへん 15画		部首 逃 しんによう 9画

ちゅう2 1かん たんい2 よみのれんしゅう
2

なまえ



脚

脚

訓

あし

音

キヤク

・三脚
さんきゃく
・脚光
きゃっこう
・脚本
きゃくほん

怪

怪

訓

あや
(しむ)

音

あや
(しい)

カイ

・怪しむ
かいだん
・怪談
かいだん
・あやしむ
あやしむ
・怪しい
あやしむ

逃

逃

訓

のが
(れる)

音

トウ

のが
(す)
に
(がす)
に
(げる)

・逃す
のがす
・逃れる
のがれる
・逃避
とうひ

部首

脚

にくづき

11画

部首

怪

りっしんべん

8画

部首

逃

しんにょう

9画



ちゅう2 1かん たんい2 A

なまえ



/ 14

5

三脚を立てて星空を撮る

4

つらい現実から逃避する

3

店員にお勘定を頼む

2

ドラマの脚本を書く

1

夏の夜に怪談を語り合う

10

保護した野鳥を山へ逃がす

9

釣り上げる寸前で魚が逃げる

8

急に親切になった兄を怪しむ

7

夜中に怪しい人影を見た

6

他人の幸運を羨む

14

実話を脚色して映画にする

13

山勘で答えたら当たった

12

二人は羨ましいほど仲がよい

11

通販サイトに商品を撮影する



ちゅう2 1かん たんい2 A-2

なまえ



/ 11

6

ネス湖の怪物の正体を探る

5

怪盗が宝石をねらう物語

4

落語で若だんなが勘当される

3

諸事情を勘案して決める

2

責任を逃れることはできない

1

決勝で敗れて優勝を逃す

11

運動会で二人三脚に出る

10

毎日走って脚力を鍛える

9

羨む気持ちを励みに変える

8

ピントがずれて撮り直しになった

7

卒業式のあとで記念撮影をする

ちゅう2 1かん たんい2 B

なまえ



/ 14

5

三脚を立てて星空を撮る

4

つらい現実から逃避する

3

店員にお勘定を頼む

2

ドラマの脚本を書く

1

夏の夜に怪談を語り合う

10

保護した野鳥を山へ逃がす

9

釣り上げる寸前で魚が逃げる

8

急に親切になった兄を怪しむ

7

夜中に怪しい人影を見た

6

他人の幸運を羨む

14

実話を脚色して映画にする

13

山勘で答えたら当たった

12

二人は羨ましいほど仲がよい

11

通販サイト用に商品撮影する



ちゅう2 1かん たんい2 B-2

なまえ



/ 11

6

ネス湖の怪物の正体を探る

5

怪盗が宝石をねらう物語

4

落語で若だんなが勘当される

3

諸事情を勘案して決める

2

責任を逃れることはできない

1

決勝で敗れて優勝を逃す

11

運動会で二人三脚に出る

10

毎日走って脚力を鍛える

9

羨む気持ちを励みに変える

8

ピントがずれて撮り直しになった

7

卒業式のあとで記念撮影をする



ちゅう2 1かん たんい3 れんしゅう

なまえ



突		寂		雄	
	訓 つ (く)	音 トツ		訓 おす	音 お ユウ
	・突風 とつふう ・突破 とつぱ ・突く っく		・寂しい さびしい ・寂しげ さびしげ ・静寂 せいじやく		・雄大 ゆうだい ・雄花 おぼな ・英雄 えいゆう
	部首 突 あなかんむり 8画		部首 寂 うかんむり 11画		部首 雄 ふるとり 12画

股		握		慌	
	訓 また	音 コ		訓 あわ (ただし)	音 あわ (てる)
	・内股 うちまた ・股関節 こかんせつ ・大股 おおまた		・握力 あくりよく ・握手 あくしゅ ・握る にぎる		・大慌て おおあわて ・慌ただししい あわただししい ・慌てる あわてる
	部首 股 にくづき 8画		部首 握 てへん 12画		部首 慌 りっしんべん 12画

ちゅう2 1かん たんい3 よみのれんしゅう
2

なまえ



突

突

訓

音

つ

トツ

(く)

・突風 とつふう
・突破 とつぱ
・突く っく

雄

雄

訓

音

おす

お

ユウ

・雄大 ゆうだい
・雄花 おばな
・英雄 えいゆう

寂

寂

訓

音

さび

さび

さび

ジャク

(れる)

(しい)

・寂しげ さびしげ
・静寂 せいじやく
・寂れる さびれる

部首

突

あなかんむり

8画

部首

雄

ふるとり

12画

部首

寂

うかんむり

11画

ちゅう2 1かん たんい3 A

なまえ

/ 13



5

鉄棒を両手でしっかりと握る

4

地震でも慌てることなく避難する

3

坂道で祖父がつえを突く

2

静寂を破って電話が鳴る

1

決勝点を決めた彼は町の英雄だ

10

難関を突破して合格する

9

友達が転校して寂しい

8

飼い犬が寂しげに鳴く

7

トウモロコシの雄花は茎の先に付く

6

駅まで大股で急ぐ

13

準備運動で股関節を回す

12

試合の後に相手と握手を交わす

11

年の瀬の町は慌ただしい

ちゅう2 1かん たんい3 A-2

なまえ



/ 12

6

毎日の練習で握力が強くなった

5

大統領が市民と握手する

4

慌て者の私はよく傘を置き忘れる

3

急な来客に大慌てで部屋を片付ける

2

冬の海辺は物寂しい

1

人口が減って港町が寂れる

12

消防の出初め式で団員が雄姿を見せる

11

船で雄大な太平洋を渡る

10

この先で道が二股に分かれる

9

ストレッチで股関節の可動域を広げる

8

物語はいよいよ最終章に突入する

7

突然の知らせに驚く

ちゅう2 1かん たんい3 B

なまえ



/ 13

5

鉄棒を両手でしっかりと握る

4

地震でも慌てることなく避難する

3

坂道で祖父がつえを突く

2

静寂を破って電話が鳴る

1

決勝点を決めた彼は町の英雄だ

10

難関を突破して合格する

9

友達が転校して寂しい

8

飼い犬が寂しげに鳴く

7

トウモロコシの雄花は茎の先に付く

6

駅まで大股で急ぐ

13

準備運動で股関節を回す

12

試合の後に相手と握手を交わす

11

年の瀬の町は慌ただしい

ちゅう2 1かん たんい3 B-2

なまえ



/ 12

6

毎日の練習で握力が強くなった

5

大統領が市民と握手する

4

慌て者の私はよく傘を置き忘れる

3

急な来客に大慌てで部屋を片付ける

2

冬の海辺は物寂しい

1

人口が減って港町が寂れる

12

消防の出初め式で団員が雄姿を見せる

11

船で雄大な太平洋を渡る

10

この先で道が二股に分かれる

9

ストレッチで股関節の可動域を広げる

8

物語はいよいよ最終章に突入する

7

突然の知らせに驚く

ちゅう2 1かん ふりかえり3 A

なまえ

/ 24



8

ドラマの
脚本を書く

7

夏の夜に
怪談を語り合う

6

考え方が
幼稚だと言われる

5

チームで
唯一の一年生だ

4

留学生を
歓迎する

3

調査団が事故の現地に
赴く

2

乾いた洗濯物を
畳む

1

週末は郊外の公園で過ごす

16

地震でも慌てることなく避難する

15

坂道で祖父がつえを突く

14

静寂を破って電話が鳴る

13

決勝点を決めた彼は町の英雄だ

12

他人の幸運を羨む

11

三脚を立てて星空を撮る

10

つらい現実から逃避する

9

店員にお勤定を頼む

24

大統領が市民と握手する

23

年の瀬の町は慌ただしい

22

怪盗が宝石をねらう物語

21

冬の海辺は物寂しい

20

マルクスの唯物史観を学ぶ

19

諸事情を勘案して決める

18

駅まで大股で急ぐ

17

鉄棒を両手でしっかりと握る

ちゅう2 1かん ふりかえり3 B

なまえ

/ 24



8

ドラマの
脚[・]本[・]
を[・]書[・]く

7

夏の夜に
怪[・]談[・]
を[・]語[・]り[・]合[・]う

6

考え方が
幼[・]稚[・]
だ[・]と[・]言[・]わ[・]れ[・]る

5

チームで
唯[・]一[・]
の[・]一[・]年[・]生[・]だ

4

留学生を
歓[・]迎[・]
す[・]る

3

調査団が事故の現地に
赴[・]く

2

乾いた洗濯物を
畳[・]む

1

週末は郊外の公園で過ごす

16

地震でも慌てることなく避難する

15

坂道で祖父がつえを突く

14

静寂を破って電話が鳴る

13

決勝点を決めた彼は町の英雄だ

12

他人の幸運を羨む

11

三脚を立てて星空を撮る

10

つらい現実から逃避する

9

店員にお勘定を頼む

24

大統領が市民と握手する

23

年の瀬の町は慌ただしい

22

怪盗が宝石をねらう物語

21

冬の海辺は物寂しい

20

マルクスの唯物史観を学ぶ

19

諸事情を勘案して決める

18

駅まで大股で急ぐ

17

鉄棒を両手でしっかりと握る

ちゅう2 1かん たんい4 れんしゅう

なまえ



詰		貼		封	
	訓 つ (む) つ (まる) つ (める)		訓 音 は (る) チ ヨ ウ		音 ホ ウ フ ウ
	・ 詰 り む ・ 詰 ま る ・ 詰 め る		・ 貼 り 絵 ・ 貼 付 ・ 貼 る		・ 完 封 ・ 封 建 的 ・ 開 封
	部 首 詰 ごんべん 13 画		部 首 貼 かいへん 12 画		部 首 封 すん 9 画

欄		簿		薦	
	音 ラ ン		音 ボ		訓 音 す す (める) セ ン
	・ 欄 干 ・ 欄 外 ・ 空 欄		・ 簿 記 ・ 名 簿 ・ 帳 簿		・ 自 薦 ・ 薦 め る ・ 推 薦
	部 首 欄 きへん 20 画		部 首 簿 たけかんむり 19 画		部 首 薦 くさかんむり 16 画

ちゅう21かんたんい4A

なまえ

/ 13



- 5 経理担当が会社の帳簿をつける
- 4 顧問の推薦で大学に進学する
- 3 旅行かばんに荷物を詰める
- 2 封筒に切手を貼る
- 1 入試の問題用紙を開封する
- 10 詰む
- 9 台所の流しにゴミが詰まる
- 8 申請書に写真を貼付する
- 7 封建的な家のしきたりに主人公が反発する
- 6 クロスワードの空欄を埋める
- 13 法務局で土地の登記簿を調べる
- 12 申込書の空欄を残さず記入する
- 11 会長の候補に友人を薦める

ちゅう2 1かん たんい4 B

なまえ

/ 13



- 5 経理担当が会社の帳簿をつける
- 4 顧問の推薦で大学に進学する
- 3 旅行かばんに荷物を詰める
- 2 封筒に切手を貼る
- 1 入試の問題用紙を開封する
- 10 詰む
- 9 台所の流しにごみが詰まる
- 8 申請書に写真を貼付する
- 7 封建的な家のしきたりに主人公が反発する
- 6 クロスワードの空欄を埋める
- 13 法務局で土地の登記簿を調べる
- 12 申込書の空欄を残さず記入する
- 11 会長の候補に友人を薦める



ちゅう2 1かん たんい5 れんしゅう

なまえ



棋		稿		誓	
	音 キ		音 コウ		訓 ちか (う)
	棋風 きふう		寄稿 きこう		誓約 せいやく
	棋士 きし		投稿 とうこう		宣誓 せんせい
	将棋 しょうぎ		原稿 げんこう		誓う ちかう
	部首 棋 12画 きへん		部首 稿 15画 のぎへん		部首 誓 14画 げん

携		啓		箇	
	訓 たずさ (わる)	音 ケイ	音 ケイ		音 カ
	たずさ (える)				
	携わる たずさわる		啓示 けいじ		数箇所 すうかしょ
	携える たずさえる		啓発 けいはつ		箇条書き かじょうがき
	携帯 けいたい		拝啓 はいけい		箇所 かしょ
	部首 携 13画 てへん		部首 啓 11画 くち		部首 箇 14画 たけかんむり



ちゅう2 1かん たんい5 A

なまえ

/ 13



- 5 拝啓 に対する結びは敬具だ
- 4 誤りの箇所を直す
- 3 祖父と将棋を指す
- 2 漫画家が原稿を仕上げる
- 1 結婚式で永遠の愛を誓う
- 10 自己啓発の本を読む
- 9 将来は医療に携わる仕事をしたい
- 8 両国が手を携える
- 7 法廷で証人が宣誓する
- 6 身分証を携帯する
- 13 説明が分かりにくい箇所に線を引く
- 12 原稿用紙に作文を書く
- 11 混雑した階段で将棋倒しが起きた

ちゅう2 1かん たんい5 B

なまえ



/ 13

5

 拝啓
 に対する結びは敬具だ

4

 誤りの
 箇所を直す

3

 祖父と
 将棋を指す

2

 漫画家が
 原稿を仕上げる

1

 結婚式で永遠の愛を
 誓う

10

 自己啓発
 の本を読む

9

 将来は医療に
 携わる
 仕事をしたい

8

 両国が手を
 携える

7

 法廷で証人が
 宣誓する

6

 身分証を
 携帯する

13

 説明が分かりにくい
 箇所に線を引く

12

 原稿用紙
 に作文を書く

11

 混雑した階段で
 将棋倒し
 が起きた

ちゅう2 1かん たんい6 れんしゅう

なまえ



喚		租		阻	
	音 カン		音 ソ		音 ソ
	・ 喚問 (かんもん) ・ 喚声 (かんせい) ・ 喚起 (かんき)		・ 租界 (そかい) ・ 租借 (そくせ) ・ 租税 (そぜい)		・ 險阻 (けんそ) ・ 阻害 (そがい) ・ 阻止 (そし)
	部首 喚 12画 くちへん		部首 租 10画 のぎへん		部首 阻 8画 こぎとへん

峰		奉		冠	
	訓 みね	音 ブ	音 ホウ	訓 かんむり	音 カン
	・ 最高峰 (さいこうほう) ・ 連峰 (れんぼう) ・ 峰 (みね)		・ 奉行 (ぶぎょう) ・ 奉納 (ほうのう) ・ 奉仕 (ほうし)		・ 三冠王 (さんかんおう) ・ 冠水 (かんすい) ・ 米冠 (まいかん)
	部首 峰 10画 やまへん		部首 奉 8画 だい		部首 冠 9画 わかんむり

ちゅう2 1かん たんい6 A

なまえ



/ 12

6

春になっても山の峰に雪が残る

5

医師として社会に奉仕する

4

大会で栄冠を手にする

3

交通安全への注意を喚起する

2

租税は国の財政を支える

1

相手のシュートを阻止する

12

長い対立で両国の阻隔が深まる

11

給与から公租公課が差し引かれる

10

鎌倉時代の御恩と奉公の関係学ぶ

9

注意喚起の放送が流れる

8

彼は無冠の帝王と呼ばれた

7

朝日に照らされた連峰が美しい

ちゅう2 1かん たんい6 B

なまえ



/ 12

6

春になっても山の峰に雪が残る

5

医師として社会に奉仕する

4

大会で栄冠を手にする

3

交通安全への注意を喚起する

2

租税は国の財政を支える

1

相手のシュートを阻止する

12

長い対立で両国の阻隔が深まる

11

給与から公租公課が差し引かれる

10

鎌倉時代の御恩と奉公の関係学ぶ

9

注意喚起の放送が流れる

8

彼は無冠の帝王と呼ばれた

7

朝日に照らされた連峰が美しい

ちゅう21かん ふりかえり6A

なまえ

/ 24



8

坂道で祖父がつえを突く

7

決勝点を決めた彼は町の英雄だ

6

三脚を立てて星空を撮る

5

店員にお勘定を頼む

4

夏の夜に怪談を語り合う

3

チームで唯一の一年生だ

2

調査団が事故の現地に赴く

1

週末は郊外の公園で過ごす

16

相手のシュートを阻止する

15

拝啓に対する結びは敬具だ

14

祖父と将棋を指す

13

結婚式で永遠の愛を誓う

12

経理担当が会社の帳簿をつける

11

旅行かばんに荷物を詰める

10

入試の問題用紙を開封する

9

鉄棒を両手でしっかりと握る

24

封建的な家のしきたりに主人公が反発する

23

鎌倉時代の御恩と奉公の関係を学ぶ

22

注意喚起の放送が流れる

21

自己啓発の本を読む

20

マルクスの唯物史観を学ぶ

19

諸事情を勘案して決める

18

医師として社会に奉仕する

17

交通安全への注意を喚起する

ちゅう2 1かん ふりかえり6 B

なまえ

/ 24



8

地震でも慌てることなく避難する

7

静寂を破って電話が鳴る

6

他人の幸運を羨む

5

つらい現実から逃避する

4

ドラマの脚本を書く

3

考え方が幼稚だと言われる

2

留学生を歓迎する

1

乾いた洗濯物を置く

16

租税は国の財政を支える

15

身分証を携帯する

14

誤りの箇所を直す

13

漫画家が原稿を仕上げる

12

クロスワードの空欄を埋める

11

顧問の推薦で大学に進学する

10

封筒に切手を貼る

9

駅まで大股で急ぐ

24

申込書の空欄を残さず記入する

23

非常食を携帯して山に登る

22

年の瀬の町は慌ただしい

21

この大会は社会人野球の最高峰だ

20

冬の海辺は物寂しい

19

彼は無冠の帝王と呼ばれた

18

春になっても山の峰に雪が残る

17

大会で栄冠を手にする

ちゅう2 1かん かん字のしくみ 1

なまえ

/ 18



6

稚

部首

5

唯

部首

4

歡

部首

3

赴

部首

2

畳

部首

1

郊

部首

12

羨

部首

11

撮

部首

10

逃

部首

9

勘

部首

8

脚

部首

7

怪

部首

18

股

部首

17

握

部首

16

慌

部首

15

突

部首

14

寂

部首

13

雄

部首

ちゅう2 1かん かん字のしくみ 2

なまえ

/ 18



6

欄

部首

5

簿

部首

4

薦

部首

3

詰

部首

2

貼

部首

1

封

部首

12

携

部首

11

啓

部首

10

箇

部首

9

棋

部首

8

稿

部首

7

誓

部首

18

峰

部首

17

奉

部首

16

冠

部首

15

喚

部首

14

租

部首

13

阻

部首